

「オンライン授業に関する教員対象調査」

集計結果報告書

2024年3月

発行：法政大学教育開発支援機構 教育開発・学習支援センター

1. はじめに

教育開発支援機構 教育開発・学習支援センターでは、「オンライン授業に関する教員対象調査」を2023年6月1日（木）～6月18日（日）の期間に実施しました。調査対象者は2023年度授業担当教員で、調査方法は法政大学アンケートシステムを用いました。同調査ではオンライン授業を実施した経験の有無、オンライン授業形態別の実施経験の有無、オンライン授業の良い点・悪い点を尋ね、最後にオンライン授業についての意見を自由記述で尋ねました。

2. 調査結果

2.1 回答者数、回答率

対象者数は4,537人、回答者数は379人であり、回答率は8.4%でした。400近いサンプルサイズのため一定の精度が確保されていますが、専任教員の回答数が兼任講師よりも約100人少なく、その点で偏りがあります。

対象者数	4,537 (専任教員：859) (兼任講師：3,678)
回答者数	379 (専任教員：149) (兼任講師：230)
回答率	8.4% (専任教員：17.3%) (兼任講師：6.3%)

2.2 オンライン授業を実施した経験

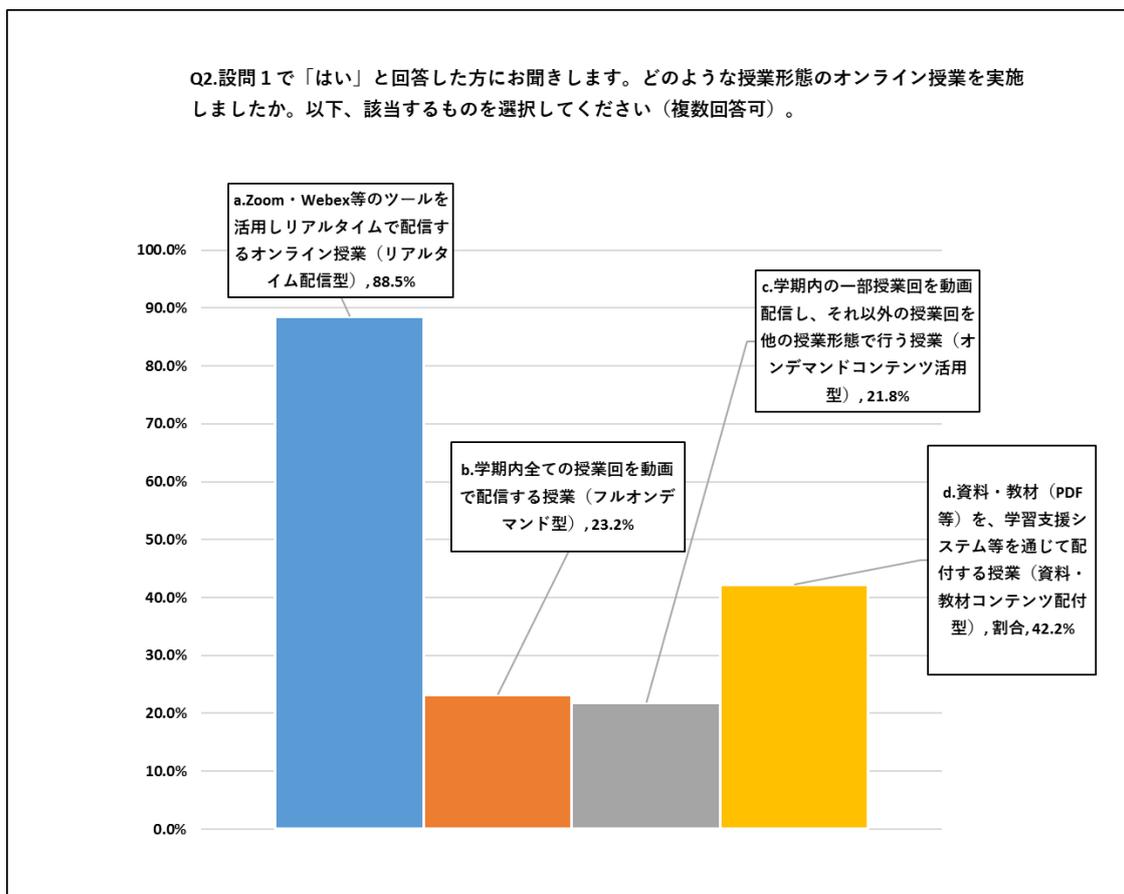
質問1はオンライン授業を実施した経験の有無を尋ねました（調査対象期間は2020～2022年であり、コロナ禍の時期）。コロナ禍においては対面授業を実施できなかった時期も含まれているため、ほとんど全ての回答者（94.7%）がオンライン授業の経験があると回答しました。

Q1.本学にて2020～2022年度にオンライン授業を実施したことがありますか？	回答者数	回答率
a.はい	359	94.7%
b.いいえ	20	5.3%

2.3 オンライン授業形態別の実施経験

質問2は実施経験のあるオンライン授業の形態を尋ねました（複数回答可）。実施経験が最も多かったのは「a.リアルタイム配信型」であり、約9割（88.5%）でした。次に「d.資料・教材コンテンツ配付型」が多く、約4割（42.2%）でした。「b.フルオンデマンド型」は約2割（23.2%）、「c.オンデマンドコンテンツ活用型」も約2割（21.8%）でした。

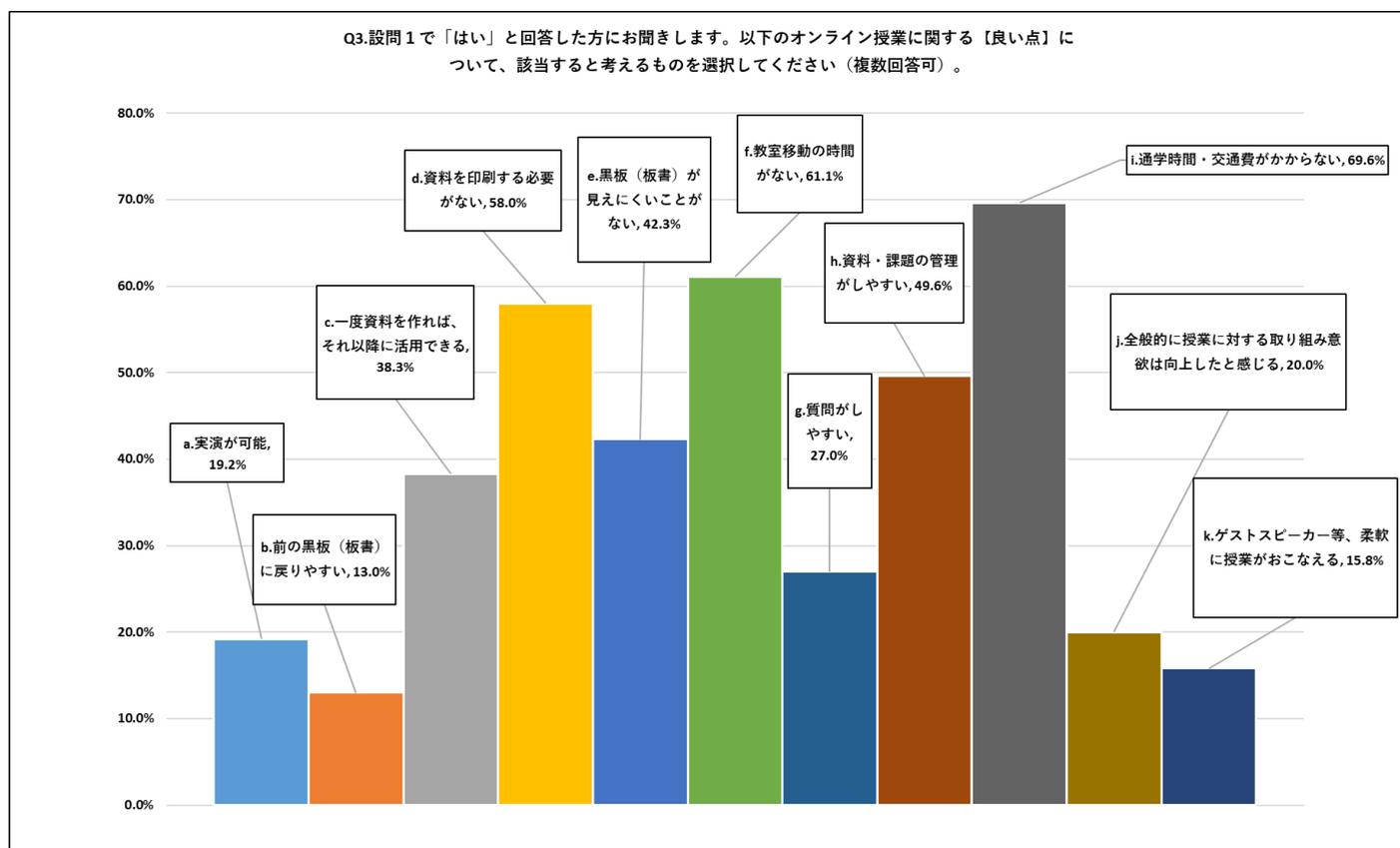
Q2.設問1で「はい」と回答した方にお聞きます。どのような授業形態のオンライン授業を実施しましたか。以下、該当するものを選択してください（複数回答可）。	回答数	割合
a.Zoom・Webex等のツールを活用しリアルタイムで配信するオンライン授業（リアルタイム配信型）	317	88.5%
b.学期内全ての授業回を動画で配信する授業（フルオンデマンド型）	83	23.2%
c.学期内の一部授業回を動画配信し、それ以外の授業回を他の授業形態で行う授業（オンデマンドコンテンツ活用型）	78	21.8%
d.資料・教材（PDF等）を、学習支援システム等を通じて配付する授業（資料・教材コンテンツ配付型）	151	42.2%
回答者数	359	



2.4 オンライン授業の長所

質問3はオンライン授業の長所を尋ねました(複数回答可)。最も回答が多かったのは「i. 通学時間・交通費がかからない」であり約7割(69.6%)、次に多かったのが「f. 教室移動の時間がない」(61.1%)、「d. 資料を印刷する必要がない」(58.0%)でした。

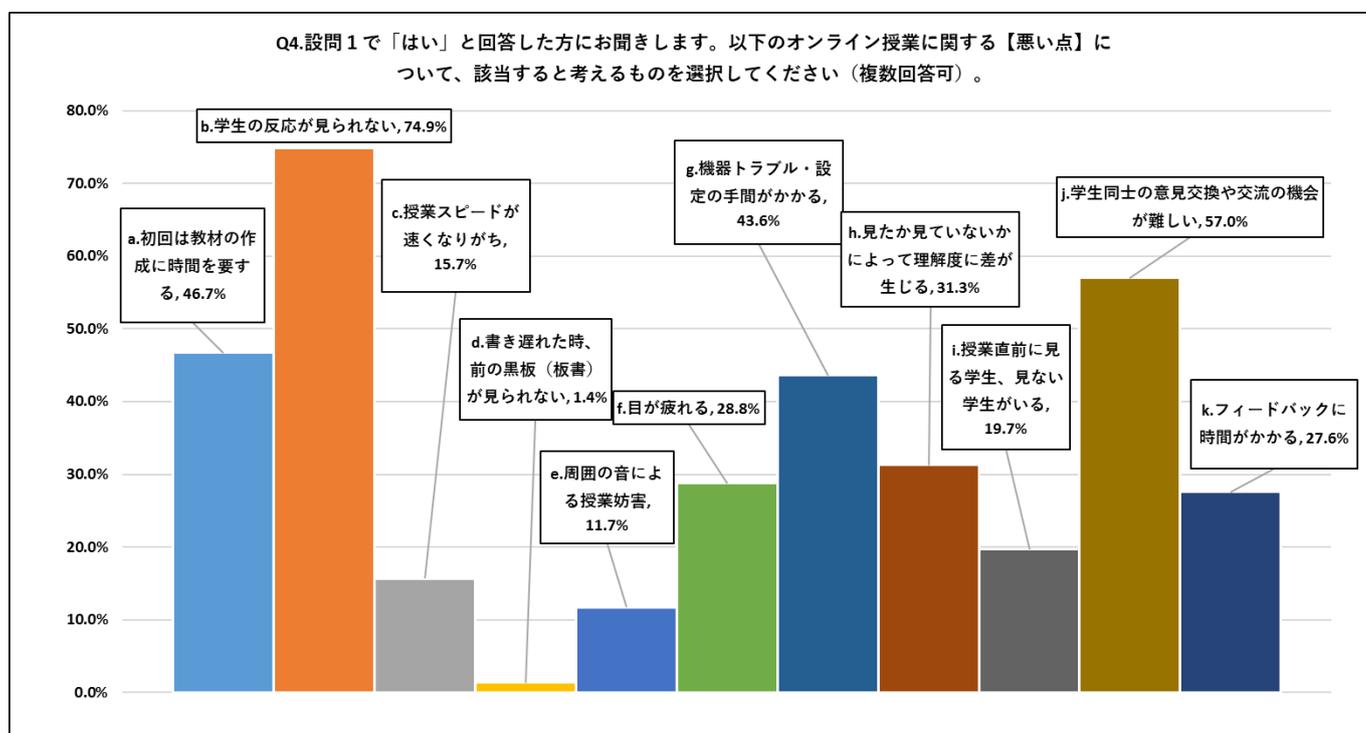
Q3.設問1で「はい」と回答した方にお聞きます。以下のオンライン授業に関する【良い点】について、該当すると思われるものを選択してください(複数回答可)。	回答数	割合
a.実演が可能	68	19.2%
b.前の黒板(板書)に戻りやすい	46	13.0%
c.一度資料を作れば、それ以降に活用できる	136	38.3%
d.資料を印刷する必要がない	206	58.0%
e.黒板(板書)が見えにくいことがない	150	42.3%
f.教室移動の時間がない	217	61.1%
g.質問がしやすい	96	27.0%
h.資料・課題の管理がしやすい	176	49.6%
i.通学時間・交通費がかからない	247	69.6%
j.一般的に授業に対する取り組み意欲は向上したと感じる	71	20.0%
k.ゲストスピーカー等、柔軟に授業がおこなえる	56	15.8%
回答者数	359	



2.5 オンライン授業の短所

質問4はオンライン授業の短所を尋ねました（複数回答可）。最も多かったのは、「b. 学生の反応が見られない」で約7割（74.9%）でした。なお、「j. 学生同士の意見交換や交流の機会が難しい」で約6割（57.0%）、「a. 初回は教材の作成に時間を要する」で約5割（46.7%）、「g. 機材トラブル・設定の時間がかかる」で約4割（43.6%）でした。

Q4.設問1で「はい」と回答した方にお聞きます。以下のオンライン授業に関する【悪い点】について、該当すると考えるものを選択してください（複数回答可）。	回答数	割合
a.初回は教材の作成に時間を要する	164	46.7%
b.学生の反応が見られない	263	74.9%
c.授業スピードが速くなりがち	55	15.7%
d.書き遅れた時、前の黒板（板書）が見られない	5	1.4%
e.周囲の音による授業妨害	41	11.7%
f.目が疲れる	101	28.8%
g.機器トラブル・設定の手間がかかる	153	43.6%
h.見たか見ていないかによって理解度に差が生じる	110	31.3%
i.授業直前に見る学生、見ない学生がいる	69	19.7%
j.学生同士の意見交換や交流の機会が難しい	200	57.0%
k.フィードバックに時間がかかる	97	27.6%
回答者数	359	



2.6 専任・兼任別の比較

既に述べたように、専任教員の回答数が兼任講師よりも約 100 人少なく偏りがあったため、専任・兼任別の比較を行いました（ただし、標本サイズが小さいことに留意する必要があります）。

質問 2 のオンライン授業形態別の実施経験の有無については、「a. リアルタイム配信型」、「b. フルオンデマンド型」、「c. オンデマンドコンテンツ活用型」については専任の方が実施経験ありの割合が高く、「d. 資料・教材コンテンツ配布型」については兼任の方が実施経験ありの割合が高いことが分かりました。

	a.リアルタイム 配信型	b.フルオンデ マンド型	c.オンデマンド コンテンツ 活用型	d.資料・教材 コンテンツ 配付型
専任教員	93%	34%	30%	38%
兼任講師	77%	14%	14%	41%
差	16%	20%	16%	-4%

質問 3 のオンライン授業の長所については、「f. 教室移動の時間がない」、「k. ゲストスピーカー等、柔軟に授業がおこなえる」について専任が兼任を約 10 ポイント上回っています。

	専任教員	兼任講師	差
a.実演が可能	15%	20%	-4%
b.前の黒板（板書）に戻りやすい	10%	13%	-3%
c.一度資料を作れば、それ以降に活用できる	32%	39%	-7%
d.資料を印刷する必要がない	60%	51%	9%
e.黒板（板書）が見えにくいことがない	36%	42%	-5%
f.教室移動の時間がない	64%	53%	12%
g.質問がしやすい	26%	25%	1%
h.資料・課題の管理がしやすい	48%	45%	3%
i.通学時間・交通費がかからない	69%	63%	7%
j.全般的に授業に対する取り組み意欲は向上したと感じる	20%	18%	2%
k.ゲストスピーカー等、柔軟に授業がおこなえる	21%	10%	11%

質問 4 のオンライン授業の短所については、「b. 学生の反応が見られない」、「j. 学生同士の意見交換や交流の機会が難しい」、「f. 目が疲れる」について専任が兼任を約 10 ポイント上回っています。

	専任教員	兼任講師	差
a.初回は教材の作成に時間を要する	42%	44%	-2%
b.学生の反応が見られない	78%	64%	14%
c.授業スピードが速くなりがち	17%	13%	4%
d.書き遅れた時、前の黒板（板書）が見られない	1%	1%	0%
e.周囲の音による授業妨害	13%	9%	4%
f.目が疲れる	34%	22%	11%
g.機器トラブル・設定の手間がかかる	46%	37%	9%
h.見たか見ていないかによって理解度に差が生じる	31%	28%	3%
i.授業直前に見る学生、見ない学生がいる	17%	19%	-2%
j.学生同士の意見交換や交流の機会が難しい	62%	50%	13%
k.フィードバックに時間がかかる	26%	26%	-1%

3. 終わりに

以上、「オンライン授業に関する教員対象調査の集計結果」について見てきました。

新型コロナウイルス感染症の流行による対面授業の規制をきっかけに、法政大学は2020年度から2022年度にかけてオンライン授業を多く実施してきましたが、ポストコロナに移行した2023年度以降は対面・オンラインそれぞれの良い点・悪い点を検証しつつ、引き続き授業の質の向上に励んでいくことが課題です。教育開発・学習支援センターの目的は、「ファカルティ・デベロップメント（FD）を中心に、本学での主体的な教育改善と学習を効果的に支援すること」であり、様々な形態の授業の質の向上について、有益なサポートを行ってまいります。今後とも、教育開発・学習支援センターの活動へのご協力をどうぞお願い申し上げます。

お問い合わせ：法政大学教育開発支援機構 教育開発・学習支援センター

事務局 学務課教育支援課 Tel:03-3264-4268 E-mail:kyoiku@hosei.ac.jp